

私たちは、「二輪車リサイクルシステム」の推進に 自主的に取り組んでいます。

参加事業者一覧（メーカー等）

2015年7月1日現在

事業者コード	参加事業者	引取ブランド	お問合せ先
100	本田技研工業(株)	ホンダ国内販売車両 	0120-086-819 (お客様相談センター) http://www.honda.co.jp/motor/
110	ヤマハ発動機(株)	ヤマハ国内販売車両 	0120-090-819 0538-32-1166 (お客様相談室) http://www.yamaha-motor.co.jp/
120	スズキ(株)	スズキ国内販売車両 	0120-402-253 (お客様相談室) http://www.suzuki.co.jp/motor/
130	川崎重工業(株)	カワサキ国内販売車両 	0120-400-819 078-925-2003 (お客様相談室) http://www.kawasaki-cp.khi.co.jp/index.html/
140	(株)成川商会	ピアジオ、ベスパ、ジレラ、デルビ、ハートフォード 	06-6809-3565 http://www.narikawa.co.jp/
150	(株)MV AGUSTA JAPAN	MVアグスタ、ハスクバーナ(2013年製造以前のイタリア製に限る)、カシバ 	0538-23-0861 http://www.mv-agusta.co.jp/
160	Piaggio Group Japan(株)	アプリリア、モトグッツィ(2010年輸入車両から)、ピアッジオ、ベスパ 	050-3786-2635 (ピアッジオコール) http://www.piaggio.co.jp/
170	(株)福田モーター商会	モトグッツィ(2009年輸入車両まで) 	03-3630-9751 (サービスフロント) http://www.motoguzzi.jp/
180	(株)イーケーイー	KYMC0, ADIVA, OXYGEN 	048-994-1881 http://www.eka.co.jp/
190	(株)プレスコポレーション	ヤマハ輸入車等、ピアジオ 	03-5419-8231 http://www.presto-corp.jp/
200	(株)ブライト	カワサキ輸入車 	078-326-6515 http://www.bright.ne.jp/
210	ドゥカティジャパン(株)	ドゥカティ 	0120-030-292 (お客様相談窓口) http://www.ducati.co.jp/
220	ビー・エム・ダブリュー(株)	BMW Motorrad 	0120-55-3578 http://www.bmw-motorrad.jp/
230	トライアンフ モーターサイクルズジャパン(株)	トライアンフ 	03-6809-5233 (トライアンフコール) http://www.triumphmotorcycles.jp/
240	(株)エムズ商会	SYM 	045-263-8166 http://www.sym-jp.com/
250	伊藤忠オートモービル(株)	スズキ輸入車 	03-3497-4557

各参加事業者が、各々、正規販売している車両に限ります。(並行輸入車両等は、お引取りできません。)
参加事業者情報は変更となる場合があります。最新情報は下記ホームページでご確認下さい。

二輪車リサイクルコールセンター

お問合せは

2015年1月5日から
電話番号が
変わりました

TEL 050-3000-0727

受付時間(土日・祝日・年末年始等を除く) 9:30~17:00

詳しくは

公益財団法人自動車リサイクル促進センター

<http://www.jarc.or.jp/motorcycle/>

二輪車リサイクル 検索

二輪車リサイクル システム



乗らなくなったら、再資源化。

私たちの暮らしの中では「使用済み製品の再資源化=リサイクル」が増えています。
こうした循環型社会の実現に、オートバイ業界もチカラを入れていることをご存じですか。
2004年10月からメーカー等が「二輪車リサイクルシステム」に自主的に取り組んでいます。

「バイクを処分したいけど・・・」とお考えの方、廃棄二輪車取扱店にご相談下さい。
大切にお使いいただいたバイクを二輪品質評価者が適正に査定させていただきます。
品質評価後、使えるならリユース、乗れなくなったら最後にリサイクル。
私たちは循環型社会の一員として、社会との共生を目指して参ります。

限りある資源の有効活用にも、
ぜひご協力をお願いします。



限りある資源を大切に

「二輪車リサイクルシステム」のながれ

バイクを処分したい人「排出者」



- ① 対象車両・引取基準を確認。注1
- ② 必要な書類を準備。注2
 - ・廃車手続き完了を確認できる「所有者確認書類」。
 - ・廃棄バイクを持ち込む人の本人確認書類。
- ③ 持込先(方法)を選択。注3
 - ③Aコース
 - ③Bコース
 - ③Cコース

排出者とはバイクの廃棄を希望する
 ・「バイクの所有者」または
 ・「所有者よりバイクの廃棄及び処理再資源化に関する一切の権限を付与された者」

排出者の行為・手続き
①・②・③・④

廃棄二輪車取扱店の行為
③C・品質評価・④・運搬

メーカー等の行為

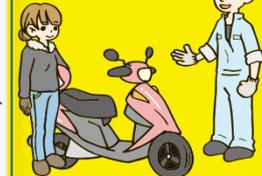
③A 自ら持込み

③B 自ら持込み

③C 収集を依頼(相談)
廃二店が収集【有料※2】

廃棄二輪車取扱店 (廃二店)

品質評価 (査定)



二輪品質評価者等が適正に査定します

もう、乗れない

まだ、乗れる！
使える！

④ リサイクル 受付手続き 注4

リユース (買取)

廃二店が運搬【有料※2】

バイクショップの中で、環境大臣の指定により廃棄物として二輪車を広域的に収集・運搬することが出来る店舗。全国に約5,500店があります。最寄の廃二店はホームページに掲載されていますので参照下さい。

「二輪車リサイクルシステム」

指定引取場所

④ リサイクル 受付手続き 注4



引渡し



メーカー等が指定する引取場所。全国約180箇所。最寄りの「指定引取場所」はホームページを参照下さい。

処理再資源化施設

手解体・選別



リサイクル率 **97.3%**
(2014年度実績)

国内メーカー4社が中心となり輸入事業者12社とともに自主的に運営しています。リサイクル費用※1はメーカー等が負担していますので、排出時に排出者の方のご負担はありません。

注1 対象車両・引取基準

対象車両

参加事業者(裏面16社)が、国内販売したバイクが対象。(原動機付自転車・軽二輪・小型二輪)



対象外のもの(一例)



引取基準

車体(フレーム)、エンジン、ガソリンタンク、ハンドル、前後輪(ホイール)が一体となっている状態。(可動・不可動は問いません。)

基準に合致しないもの ⇒ 対応策

- ・各パーツバラバラの状態 → 一体に組上げて下さい。
- ・ごみ類や後付部品等を搭載 → 綺麗に取除いて下さい。
- ・オイル、ガソリン等の漏れ → 抜取るか、漏れないよう処置して下さい。
- ・リチウムイオン電池 → 購入店に相談し、事前に取外して下さい。

注2 必要な書類

廃車手続き完了を確認できる「所有者確認書類」

バイクの種類(排気量)	所有者確認書類	廃車手続き窓口
原付 一種・二種(～125cc)	廃棄申告受付書 等	市区町村
軽二輪(126cc～250cc)	軽自動車届出済証返納済確認書 等	運輸支局
小型二輪(251cc～)	自動車検査証返納証明書 等	運輸支局

市区町村・運輸支局に届出・登録されているバイクをリサイクルすることはできません。事前に廃車手続きを行い、廃車手続き時の書類を準備して下さい。

廃車手続き未了の方は廃二店に依頼することが可能な場合もあります。詳しくはお近くの廃二店にご相談下さい。

廃棄バイクを持ち込む人の本人確認書類

- ・免許証、健康保険証、パスポート等を準備して下さい。

注3 持込先(方法)・必要な費用

コース	持込先(方法)	運搬行為	収集費用	運搬費用	品質評価(査定)	リサイクル費用※1
③Aコース	指定引取場所	自ら運搬できる	—	—	なし	無料
③Bコース	廃棄二輪車取扱店	自ら運搬できる	—	有料※2	あり	無料
③Cコース	廃棄二輪車取扱店	自ら運搬できない	有料※2	有料※2	あり	無料

※1 2004年10月以降の販売車両についてはメーカー希望小売価格にリサイクル費用が含まれています。それ以前の販売車両はメーカー等が負担しますので、排出者のご負担はありません。

※2 収集運搬費用は距離や車両状態等によって変化しますので、お近くの廃二店にご相談下さい。

注4 受付時の留意点

- ・廃車手続き完了書類及び持込み者が確認できる書類を添えて受付に提示して下さい。
- ・「二輪車リサイクル管理票」は持込み者ご本人が自筆で記入して下さい。

バイクの所有者と排出者が異なる場合、「所有者より廃棄及び処理再資源化等に関する一切の権限を付与された者」として、所有者との間に問題が生じた場合の全責任を負う旨の誓約(署名)をいただきます。